

今年も木津川で地元団体と協力して河川伝統工法 “中聖牛（ちゅうせいぎゅう）” 作りに挑戦！

H30.12.8

—淀川河川事務所—

12月8日（土）、9日（日）に京都大学竹門准教授、河川協力団体やましる里山の会などが中心となって進めている中聖牛製作に淀川河川事務所も参加しました。昨年に引き続き静岡県で聖牛製作などに携わっている(株)原小組にも協力頂き、河川伝統工法について学びながら実施しました。

中聖牛は水制工として用いられてきた河川伝統工法の一つであり、竹で組んだ蛇籠を加えることで、河川の水勢を緩和させる効果があります。

今後、中聖牛設置による河川環境の改善を期待し、モニタリングを実施していきます。

活動概要

とき：平成30年12月8日（土）、9日（日）

10:00～16:00

ところ：木津川河川敷（玉水橋の下流16km右岸付近）

参加人数：延べ約35人（内：淀川河川事務所 5人）

主催：京都大学、

協力：やましる里山の会、(株)原小組、淀川河川事務所

位置図



当日の様子

作業工程を学ぶ



犬丸副所長による挨拶

最後はみんなで記念写真



～参加者の声～

- ・環境について学ぶ機会があまりない中で、自然を活かした工法で環境を守っていることを知れて勉強になった。
- ・昔の知恵が今も引き継がれているのはすごいと思った。今後もこのような工法を後世に引き継いでいきたい。

■ 問い合わせ先 ■

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 河川環境課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2-10
TEL 072-843-2861（代）

